

□講義科目（専門科目）

科目名	社会福祉政策論（隔年開講、2024 年度開講）	2 単位
担当者	藤森 克彦	
テーマ	①なぜ日本の貧困率は高いのか ②なぜ単身世帯は増加するのか。求められる社会（福祉）政策は何か。	
開講形態	一部ハイブリッド形式	
科目のねらい	<p>&lt;キーワード&gt; 1. 単身世帯、2. 所得再分配、3. 貧困、4. 社会的孤立、5. 福祉国家レジーム</p> <p>&lt;内容の要約&gt; 本科目では、前半で、日本の社会（福祉）政策—とりわけ社会保障制度—について、国際比較を交えながら、日本の生活保障の特徴と限界を考える。 後半では、単身世帯を切り口に、日本の社会（福祉）政策を考察していく。日本では、生活上の様々なリスクに家族が大きな役割を果たしてきた。しかし、世帯規模が縮小し、家族の支え合い機能が、従来よりも弱くなっている。単身世帯の増加は、その象徴といえる。そこで、単身世帯の増加の実態と生活上のリスクを考察しながら、社会保障政策、労働政策、財政政策などを総合的に考察していく。</p> <p>&lt;学習目標&gt; ・社会（福祉）政策の役割を説明できる。 ・日本の貧困の実態と要因を把握し、必要な社会（福祉）政策を説明できる。 ・単身世帯の増加実態とその要因を把握し、必要な社会（福祉）政策を説明できる。</p>	
授業の進め方	第1講 インTRODクシヨN／社会福祉政策とは何か 第2講 日本の社会福祉政策の仕組み 第3講 国際比較を通して、日本の貧困を考える① 第4講 国際比較を通して、日本の貧困を考える② 第5講 所得再分配の効果をめぐる議論と実態① 第6講 所得再分配の効果をめぐる議論と実態② 第7講 福祉国家類型論① 第8講 福祉国家類型論② 第9講 単身世帯の増加とその要因 第10講 単身世帯の生活上のリスク—貧困、社会的孤立、介護 第11講 単身高齢世帯の国際比較—米国、ドイツ、スウェーデンとの比較 第12講 単身世帯予備軍 第13講 単身世帯と「身寄り」問題 第14講 単身世帯の増加に対する対策 第15講 まとめ講義	
事前学習の内容・学習上の注意	・講義の中では「考えること」を重視するため、教員から学生に問いを投げかけ、学生に発言を求める対話型の講義を行っていく。 ・第1講から第8講までは、日本の社会（福祉）政策について講義を行う。第9講以降は、単身世帯を題材にして、社会（福祉）政策を考える。 ・講義終了後、学んだ内容を指定テキストや参考文献によって確認しておくこと。	
テキスト	藤森克彦『単身急増社会の希望』日本経済新聞出版社、2017年（講義内で配布予定）	
参考文献	権丈善一・権丈英子『もっと気になる社会保障』勁草書房 2022年 権丈善一『ちょっと気になる社会保障V3』勁草書房 2020年 権丈英子『ちょっと気になる働き方の話』勁草書房 2019年 権丈善一『ちょっと気になる政策思想』勁草書房 2018年 権丈善一『ちょっと気になる医療と介護』勁草書房 2017年 厚生労働省『平成24年厚生労働白書』（「第1部 社会保障を考える」を活用）以下のHPより、ダウンロード可。 <a href="http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/12/">http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/12/</a>	
成績評価方法と基準	ディスカッションへの参加度（30%）、最終講義後に提出を求める課題レポート（70%）を合わせて、総合的に評価する。総合評価60点以上を合格とする。	